

『蒼炎』

（伝統の継承）

当番幹事 高四十九回生

代表 長峰 英史

糸島高等学校同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと心よりお慶び申し上げます。

近年の糸島高等学校の活躍ぶりに、大変驚かされるとともに嬉しく感じております。この成果は、教職員の皆様の熱心なご指導はもとより、保護者会の皆様、同窓生の先輩方のご尽力の賜物と拝察しております。

さて、今年十月十五日（日）に行われます創立百二十一年糸島高等学校同窓会総会は、私たち四十九回生が当番幹事を務めさせていただきます。昨年は四十八回生の先輩方がコロナ禍で多くの制限がある中、強い思いで同窓会総会を開催していただきました。なんとかその思いをつなぐべく、四十九回生一同、一歩ずつ準備を進めております。

今年のテーマは『蒼炎』（伝統の継承）とさせていただきます。

昨年のテーマ『燈』（灯し続ける炎と伝統）には、少しでもコロナ禍前の状態に戻し、糸島高等学校及び同窓会に“明かり”を灯し続けられるようにという思いが込められています。主題の『蒼炎』には、四十八回生の思いを引継ぎさらに熱い思いでコロナ禍を乗り越え、皆様の未来が明るく喜びに満ち溢れたものになるようにという願いを込めています。また、コロナ禍の三年間で同窓会総会・懇親会をはじめとする同窓会活動や、糸島高等学校における学校行事や諸活動が中止になったり制限されたりすることが続きました。百二十年間引き継いで成長させてきた伝統が失われようとしています。これまで築き上げてきた伝統が後世まで引き継がれ、さらに発展していくように副題を「伝統の継承」とさせていただきます。

今年と同窓会総会は、十月十五日（日）伊都文化会館にて開催いたします。四年振りの懇親会を含めた同窓会総会の準備を進めるにあたって、同窓会本会の皆様をはじめ、四十四回生から四十八回生までの多くの先輩方に気に掛けていただき、ご教授いただきました。感謝の気持ちとともに、このようなつながりを大切にしたい心からのおもてなしをさせていただきます。よろしくお願いいたします。どうぞ、皆様お誘い合わせの上、ご参加いただけたらと存じます。何卒、よろしく願います。